

の勤務環境改善事業、広島県の医学生・研修医等をサポートするための会、徳島県男女共同参画委員会の育児・介護に対する意識ならびに状況と実態把握のために実施したアンケート、香川県医師会ドクターバンクで作成した普及グッズ、愛媛県の県内主要病院への病院長訪問、高知大学医学部で実施している医学生対象の「医療現場における男女共同参画」をテーマにした授業、山口県医師会の「医師会員に係る介護問題への県医師会の取り組み」アンケートの結果の報告があった。

⑥ 九州ブロック

沖縄県医師会女性医師部会副会長

外間 雪野先生

九州ブロック各県における取り組みについて、長崎県あじさいプロジェクトで事業の充実・拡大した保育サポート事業、熊本県女性医師キャリア支援センターが熊本市医師会に委託して開設している医師会内保育所「メディッコクラブ」、宮崎県医師会が育児サポーターを養成して開始した「宮崎県女性医師保育支援サービスモデル」、沖縄県で9年連続開催している「沖縄県女性医師フォーラム」について報告があった。



2. 女性医師バンクの新たな取り組みについて

専任コーディネーターより、「ホームページの刷新」、新たに求人用チラシを制作し、各医療機関の医師採用担当者あてに送付するといった「広報活動の評価」、常に新しい求人情報を求職登録者へ提供し就職成立件数アップへとつなげる「登録者へのフォローの強化」、最後に「都道府県医師会との連携強化」として、各都道府県医師会に窓口担当者1名の選任を依頼し、全国の担当者連絡網を作成することで情報交換や事業に関わる問い合わせ等を可能とする全国ネットワークを構築し、より効果的な女性医師支援体制の強化を目指すといった4点につき説明が行われた。

◇

最後に質疑応答と総合討論があり、日医男女共同参画委員会の藤根美穂委員（北海道）からは、3人の子どもを育てながら仕事を続けてきたが、中断した時期もあり、みんなと同じようには進めてこれなかった。今でも常勤ではないが、発達障害など子どもの心を診る仕事をしており、その関係で教育委員会の医療アドバイザーをするなど、モチベーションが出てきたところであり、自分の得意なことをみつけ、戻ってきたときに自分がある状況と、戻ってきたことが良いと言ってもらえる環境が大事であるとの発言があった。

平成29年春の叙勲受章者（北海道医師会）

先般、平成29年春の叙勲・褒章受章者が発表され、当会会員で以下の方々叙勲の荣誉に浴されました。ここに受章者の方々のご功績をたたえ、謹んでご芳名を掲載させていただきます（敬称略）。受章者各位には、心からお祝いを申し上げます。

◇旭日小綬章

浅井 康文 元 国際緊急援助隊医療チーム
支援委員会委員長、
札幌医科大学名誉教授
国際医療協力功労

◇旭日双光章

大北 健雄 元（一社）渡島医師会会長
保健衛生功労

◇旭日双光章

宮本 慎一 元（社）北海道医師会副会長
保健衛生功労